

戦後秩序下の尖閣諸島

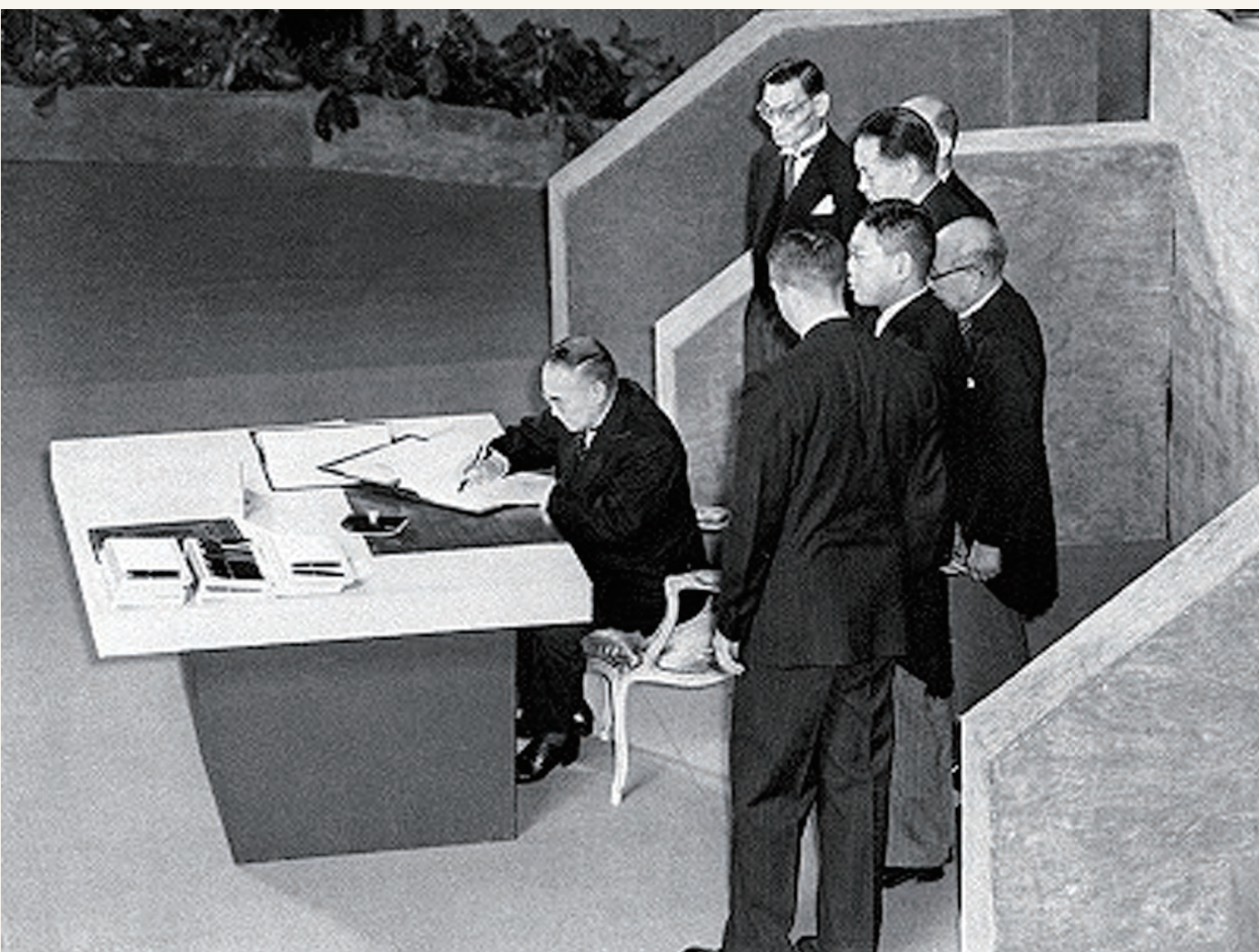
尖閣諸島在二戦後秩序和國際法體系中，自始至終一直都是日本の領土。

美國從戰爭期間就將尖閣諸島視為沖繩的一部分，在美國施政下，尖閣諸島隸屬八重山諸島管轄，基本上就維持與二戰前相同的情況。

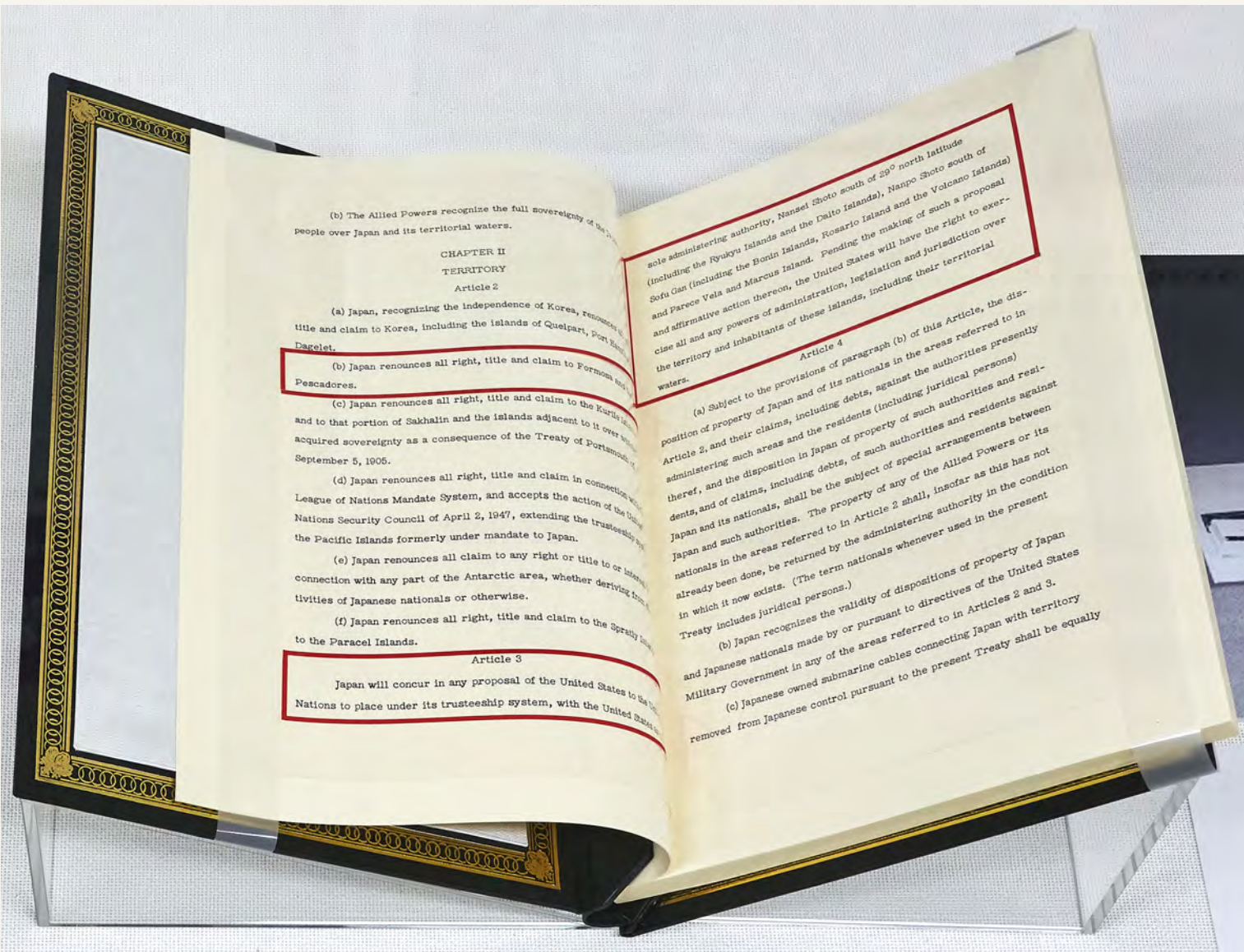
1952年（昭和27年）4月，《舊金山和平條約》生效後，沖繩包括尖閣諸島在內的領有權留在日本，琉球列島作為「北緯29度以南の西南諸島」，正式被置於美國的施政之下。

之後，根據1972年（昭和47年）5月15日的《歸還沖繩協定》，沖繩包括尖閣諸島在內的施政權被歸還給了日本。

如上所述，尖閣諸島在二戦後秩序和國際法體系中，自始至終一直被視為日本の領土。



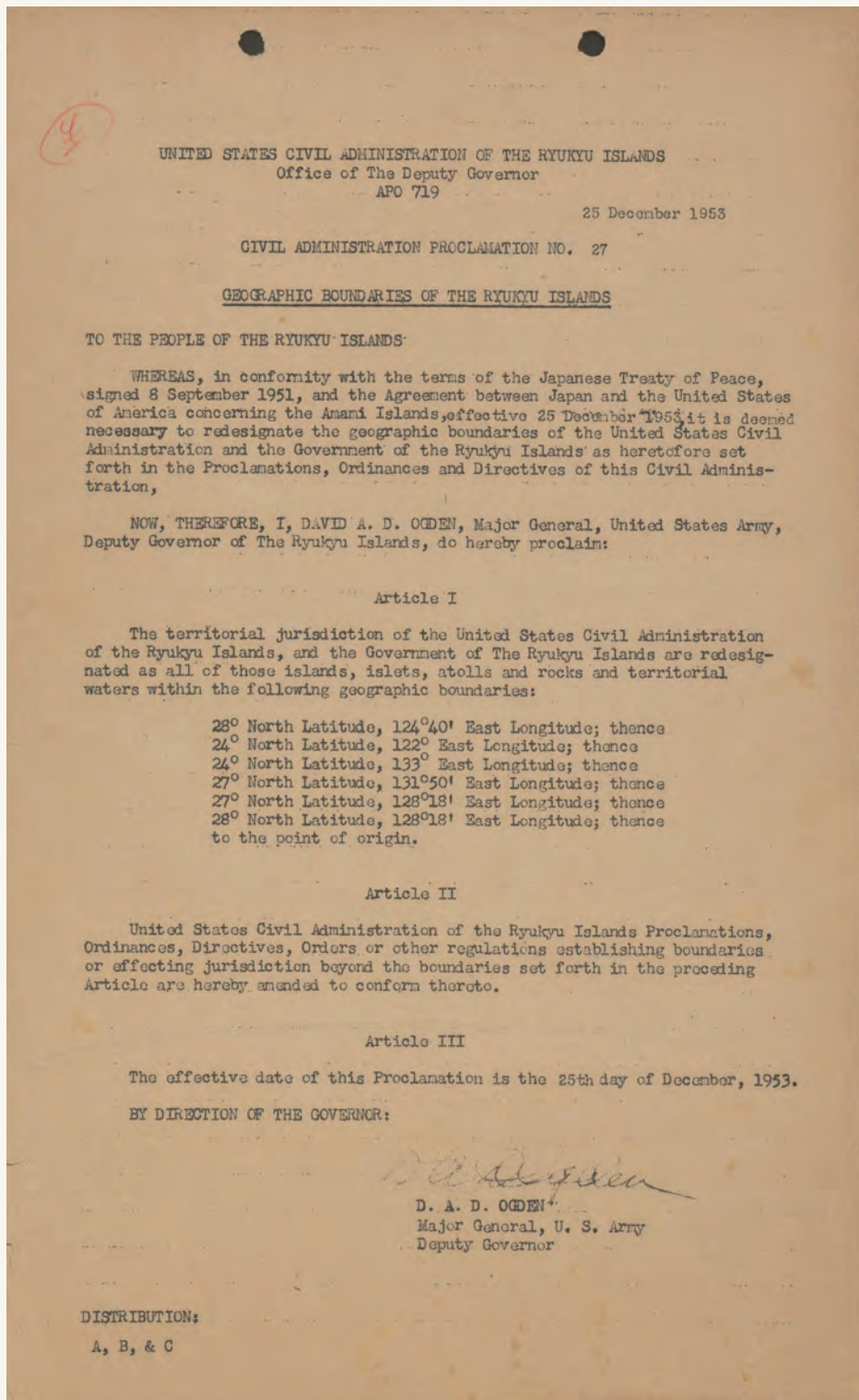
サンフランシスコ平和条約調印 1951年9月8日
写真：共同通信社



サンフランシスコ平和条約

第二章（領域） 第三条

日本国は、北緯二十九度以南の南西諸島（琉球諸島及び大東諸島を含む。）、孀婦岩の南の南方諸島（小笠原群島、西之島及び火山列島を含む。）並びに沖の島島及び南鳥島を合衆国を唯一の施政権者とする信託統治制度の下におくこととする国際連合に対する合衆国のいかなる提案にも同意する。このような提案が行われ且つ可決されるまで、合衆国は、領水を含むこれらの諸島の領域及び住民に対して、行政、立法及び司法上の権力の全部及び一部を行使する権利を有するものとする。

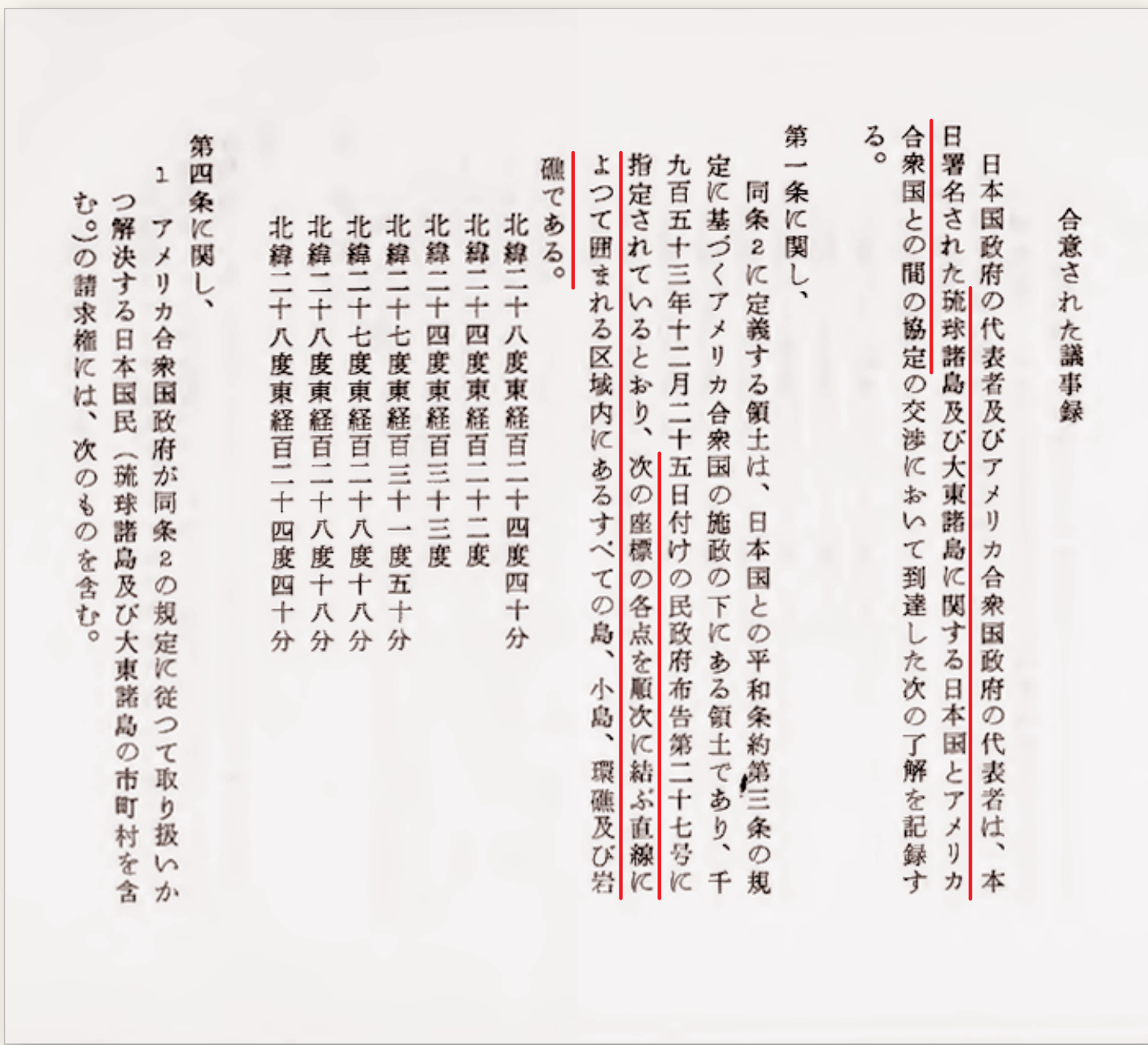


米国民政府布告第27号 （琉球列島の地理的境界）

第1条で琉球の範囲を緯度経度で指定

1953年12月25日、米国は、「米国民政府布告第27号」を発出し、琉球列島の地理的境界を緯度経度で明示した。その範囲には尖閣諸島が含まれている。

USCAR Office of The Deputy Governor
1953(昭和28)年12月25日
所蔵：沖縄県公文書館



沖縄返還協定 合意された議事録

1972(昭和47)年、沖縄返還協定により地図上の直線で囲まれた区域内の全ての島が返還された。この対象区域に尖閣諸島も含まれている。

所蔵：国立公文書館

